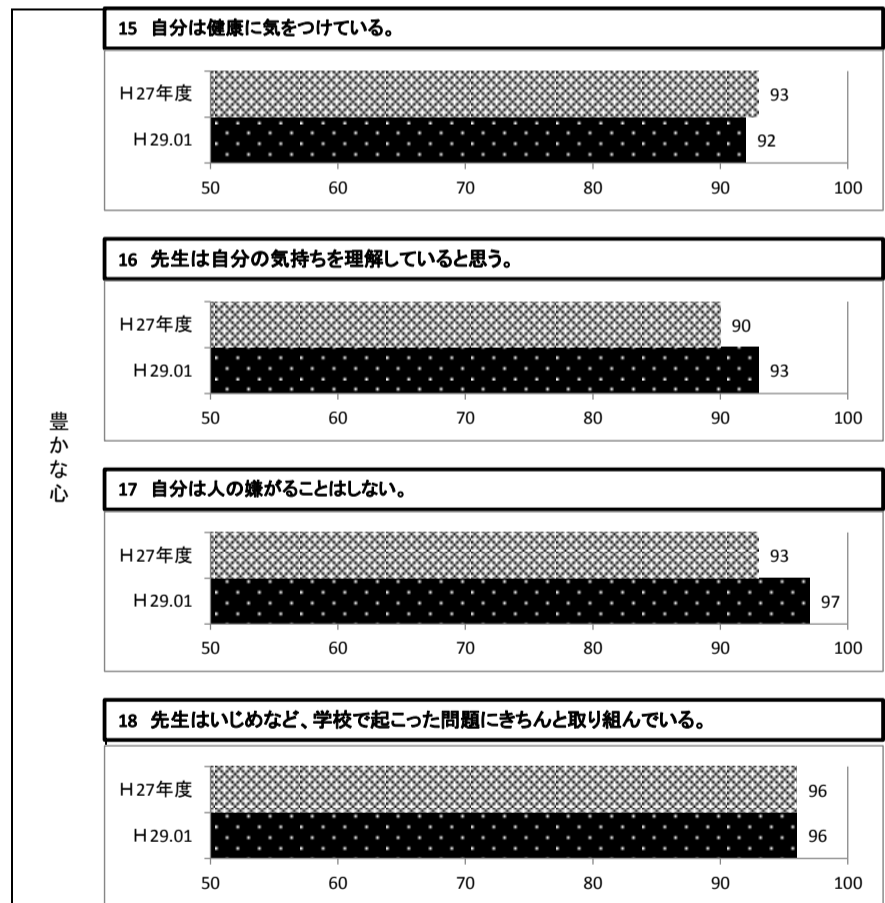
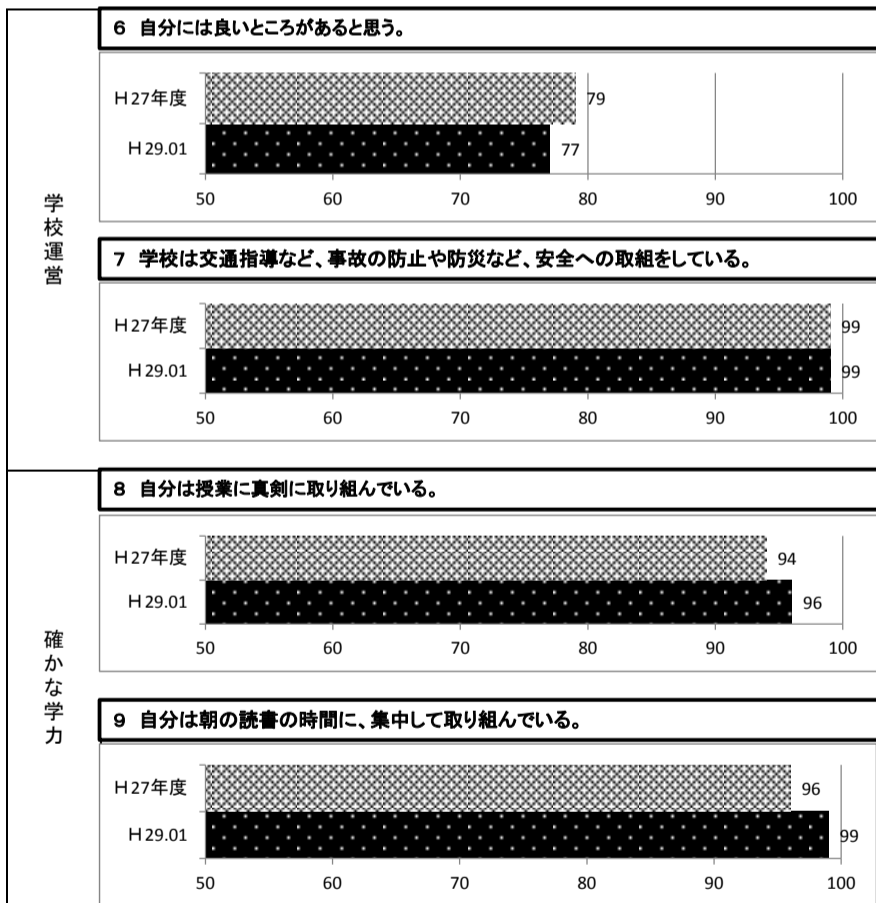
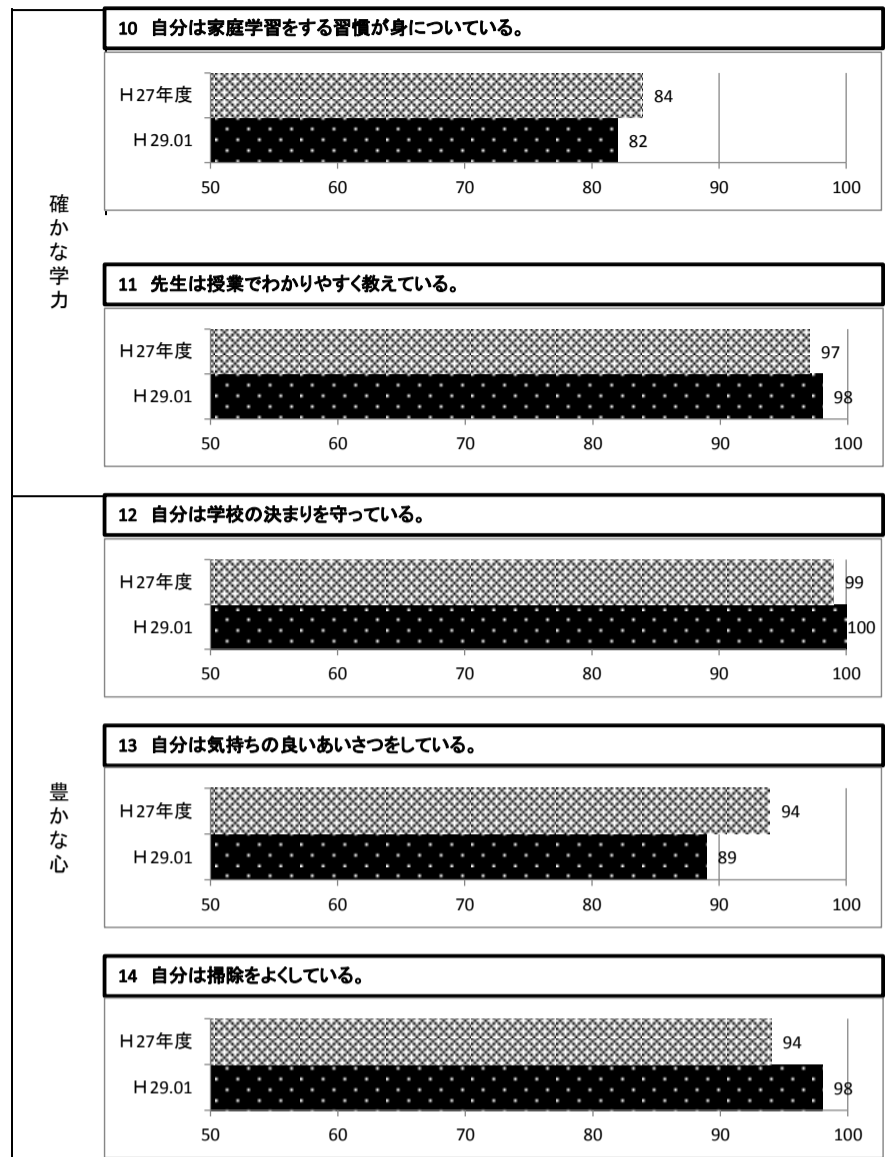
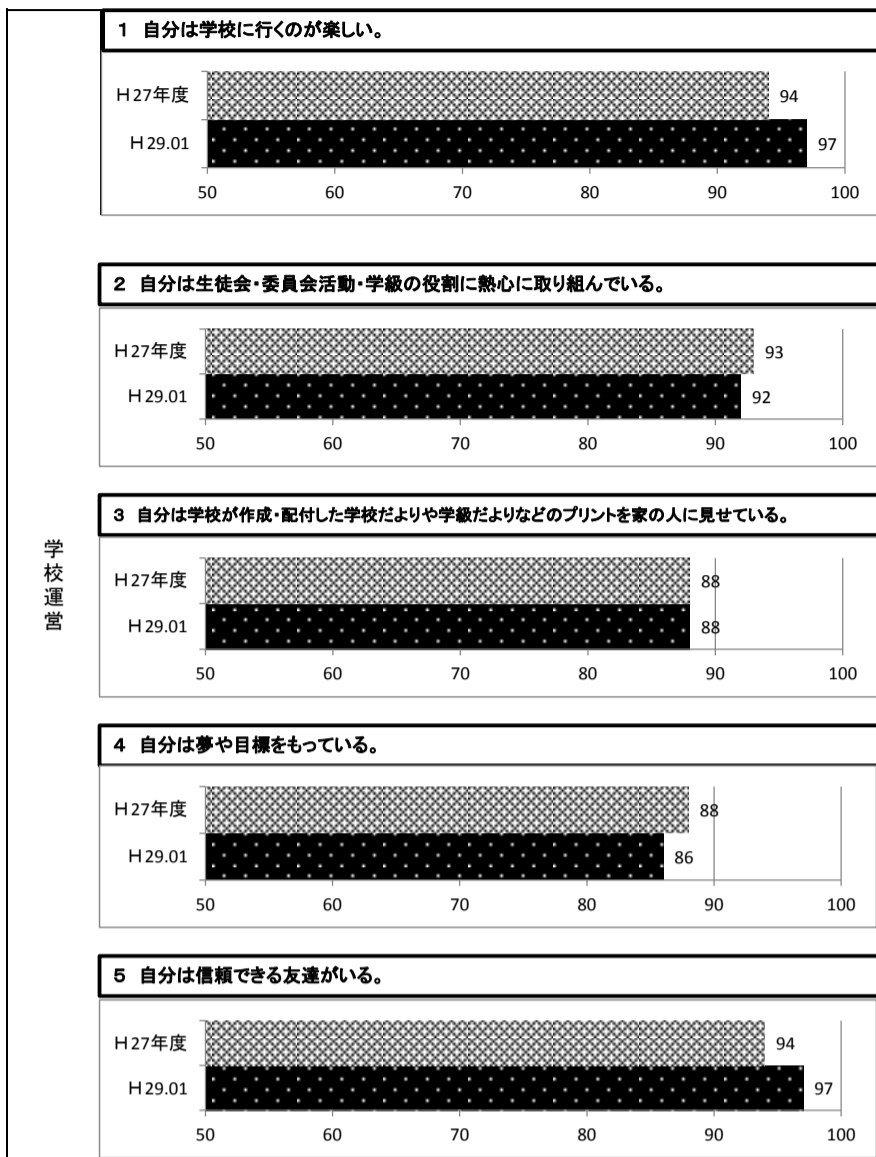


平成28年度 学校評価 生徒アンケート 29年1月実施結果



(考察) 全体的に見て、昨年度より9つの質問項目において、今年の肯定率が上がっており、3つの質問項目の回答が一緒であった。このことから、生徒たちが学校生活全般において、充実感をもって生活していると考えられる。特に肯定率が高い項目は、「12自分は学校の決まりを守っている」が100%で生徒1人ひとりの規範意識が非常に高く、ほとんどの生徒が校則を確実に守っている。次に、「7学校は交通指導など、事故の防止や防災など、安全への取組をしている」と「9自分は朝の読書の時間に、集中して取り組んでいる」が99%と高く、生徒が安全への取組を学校が行っていると感じていたり、読書を集中して取り組んだりしている。また、「11先生は授業でわかりやすく教えている」と「14自分は掃除をよくしている」が98%で、授業での充実感や清掃活動への取り組みの気持ちが高いことが伺える。今後も、教師側が解りやすい授業を仕組んだり家庭学習を充実させる取組を充実することで、学力向上に努めていく。また、奉仕の心や感謝の心を今以上育てていくため、道徳教育の充実と日ごろからの生徒との心の触れ合いを大切にしたい。本年度の学校マニフェストの中で、「6自分にはよいところがあると思う。」という生徒の自己肯定感を、80%以上に高めさせようと、「生徒の良いところを見つけ、褒めて育てよう。」と取り組んできたが、77%と達成できなかった。これからも、生徒に夢や希望を抱かせ、自分はやればできるという自信や自己肯定感を高めさせるためには、どのような策を講じていくかを具体的に考え、教職員一丸となり取り組んでいきたい。